

ヤチスギラン

Lycopodium inundatum L.
ヒカゲノカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内の生育確認は2か所だが、近年湿原の遷移が進み、低木が繁茂しほとんどみられなくなった。

分 布

全国分布は北海道～本州の湿地に生育。県内分布は敦賀市。

種の特徴

湿原に生育する小型の草本。茎は湿原をはうが、10～20 cmで、葉を密につける。直立茎をほふくする茎から出す。直立茎の先端に胞子のう穂をつける。

生育を脅かす要因

湿地の遷移が進み、低木が繁茂し生育環境が悪化している。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1990)、中池敏之 (1982)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

ミズニラ

Isoetes japonica A.Braun
ミズニラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内の生育確認地は7か所あるが、池や沼にアメリカザリガニが多く繁殖し、食べられ絶滅に瀕している。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布はあわら市、敦賀市。

種の特徴

池や沼に生育する夏緑性の水生シダで、地下に塊茎がある。塊茎から葉を出す。長さは水の深さで変化する。葉は針金状で先端はしだいに細くなる。葉の基部は広卵形となり、中央部がへこむ。このくぼみに胞子のうが入っている。

生育を脅かす要因

池や沼の改修。アメリカザリガニの食害。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1985)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○							○	○			

ヒメクラマゴケ

Selaginella heterostachys Baker
イワヒバ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は2地区のみである。

分 布

本州（中部地方以西）～九州に分布。県内では嶺南西側にみられる。

種の特徴

山地の斜面や岩上に生育する常緑のシダ植物。茎は匍匐し、腹葉は卵形、細かい鋸歯があり、やや密に付く。背葉は狭卵形、細かい鋸歯があり、先は長く伸びる。夏～秋、胞子のう穂は直立茎の枝先に付く。胞子葉は2形がある。

生育を脅かす要因

森林伐採、管理放棄、自然遷移、産地局限。

参考文献 岩槻邦男 (1992)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○														